

# 2021 年度事業報告書

公益財団法人 広島YMCA





2021年度はこども食堂などの地域の課題に取り組みました。

ひとりがよくなると世界はきっとこう変わる。  
ひとりが「よくなる」と、どんなコトが起きるだろう。

ひとりが「よくなる」と、  
その人と出会った誰かがうれしくなる。  
つまり、その人もきっと「よくなる」。  
そして「よくなる」の繰り返しは社会や世界を  
よりよく変えていくチカラになると思うのです。

その人と出会った誰かが「よくなる」  
そんな出会いとつながりをYMCAは  
これからも大切にしたいと考えています。

「よくなる」の連鎖はやがて  
社会や世界を変えていくチカラとなっていく。  
そしてきっと平和を形にしていく原動力となっていく。

## SDGs × YMCA

グローバル・パートナーシップ

### YMCA はポジティブネットのある 豊かな社会を創造します。

持続可能な開発目標（SDGsエス・ディー・ジーズ）とは、2015年9月に国連サミットで採択された2030アジェンダの開発目標です。17の目標・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（Leave no one behind）世界の実現を誓っています。

国内外で広がる貧困や格差、紛争や気候変動の課題、子どものいじめや虐待など、世界の共通課題に向けて、YMCAも国内外のグローバルなパートナーシップを活用し、多様な連携を通じて世界を変える一翼を担います。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## Vision

YMCA が実現したい世の中の姿

互いを認め合い、高め合う  
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

— Positive Net —

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、  
善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。  
課題の多い社会のなかで、それは、生きるためのひとつの選択肢となっていく。  
私たち日本の YMCA は、グローバルなネットワーク基盤を活かして  
ポジティブネットを広げ、希望あるより豊かな社会を創ります。

## Value

YMCA がビジョン実現に向けて、提供を約束する価値

したい何かがみつき、誰かとつながる。  
私がよく、かけがえのない場所。

みつかる

Encounter

つながる

Connect

よくなる

Transform

## Personality

YMCA が備えているべき個性、らしさ

心をひらき、わかち合う。  
前向きで、まわりを惹きつける  
魅力を持つ。

## ごあいさつ

会員の皆様、いつも広島YMCAの公益事業をお支え下さり、誠にありがとうございます。

2020年の年明けから世界規模で拡大した新型コロナウイルスの脅威は2021年度も続き、広島YMCAの公益事業は、国際交流、国際協力、そして平和教育における対面プログラムのすべてをオンラインプログラムに切り替え、広島・ホノルル青少年交流プログラムLet's Get Together、そして青少年平和セミナーをWeb開催とし、また、セブ島で行われていたフィリピン・ワークキャンプは、ストリートチルドレン支援活動、セブ大規模火災緊急支援に切り替え、広島ロータリークラブ様からのご寄付を活用しながら活動を続けることができました。大変大きな影響を受け続けた年度となりましたが、新しい生活様式を取り入れた活動方法、そしてつながりの創出に取り組む機会にもなりました。

国内では、コロナ禍の様々な制限、活動自粛により経済的に困窮するご家庭、若者の貧困も大きな問題となっていますが、全国のYMCA活動を支えるAmazon、Costco 他、賛助企業のご協力、そして地元企業であるオタフクソース様、株式会社アンデルセン様のご協力により、こども食堂・ひとり親家庭への物品支援やイベント開催、また、昨年11月に発生した広島エキニシ火災被災地への支援活動など、地域に根差した支援活動を実施することができました。

一方、今年2月にはロシアによるウクライナ軍事侵攻が発生し、多くのウクライナの人々が戦火を逃れ、近隣諸国に避難していますが、日本YMCA同盟は世界YMCA同盟、ウクライナYMCAと連携し、国外に避難される方々の移動や手続きのサポート、そして日本国内に避難された方々の就労や教育支援など、生活を中心としたサポートを開始しており、広島においてもウクライナ人会のサポートや避難民の受け入れを行っています。

新型コロナウイルスの脅威は依然として続き、世界情勢も混迷を深めています。そのような中だからこそYMCAの公益活動の継続、弱くされている方々への寄り添いが必要です。海外との往来や経済活動がコロナ以前に戻りつつあります。「正しく恐れながらできる範囲で広島YMCAの使命に基づいた活動を実施する」ことを心掛け、「世界をみつめ、地域に生きる」広島YMCA活動を続けてまいります。これからも皆様のお支えをよろしくお願い申し上げます。

広島YMCA 理事長 松井 敏  
公益財団法人  
広島YMCA 理事長 竹井幸義



広島YMCA理事長  
松井 敏



公益財団法人  
広島YMCA理事長  
竹井 幸義

2021年

5/5 (水・祝)	原爆の子の像建立記念式典 (広島女学院大学協力/職員有志)
5/26 (水)	「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い2021を実施
7/3 (土)	熊本県球磨郡球磨村復興祭 支援物資・冷感ブランケット寄贈
8/3 (火)	アルメニア平和の灯ろう・平和の俳句展
8/4 (水)	市民平和行進 (広島県被団協・広島県生協連協力)
8/5 (木)	核兵器禁止条約締約国会議とNPT再検討会議に向けて (NPO協力)
8/6 (金)	被爆ピアノ・バイオリンのコンサート (NPO協力)
8/24 (火) ~	こども食堂「夕焼けぼっぼ食堂」ランチボックス支援活動実施
9/30 (木) ~	一人親家庭支援のフードバンク支援活動開始
10/23 (土)	横浜YMCA平和週間 千羽鶴献納プログラム実施
10/23 (土)	全国YMCAユース平和ミーティング主管
11/1 (月)	Amazonみんなでサンタクロースプロジェクト開始
11/13 (土)	世界YMCA/YWCA合同祈祷集会 (呉YWCA主管)
12/1 (水)	広島YMCA国際協力募金 キックオフスタート
12/4 (土)	広島YMCAクリスマス 被災地にリースを贈ろう
12/8 (水)	インターナショナル・チャリティーランフォトコンテスト
12/9 (木)	エキニシ火災 被災地支援活動開始
12/12 (日)	YMCA国際協力募金・街頭募金活動
12/14 (火)	みんなでサンタクロース こども食堂サンタでプレゼント実施
12/17 (金)	広島YMCA クリスマス音楽礼拝実施
12/22 (水)	坪井直氏 お別れ会 (NPO協力)

2022年

1/22 (土)	核兵器禁止条約発効1周年を祝う広島集会 (NPO協力)
2/23 (水・祝)	YMCAピンクシャツデー (全国協働)
3/1 (火)	ウクライナ緊急支援募金スタート
3/11 (金)	3.11東日本大震災を忘れない追悼の集い(広島市社協協力)



一人親家庭支援フードバンクサポート



Amazon みんなでサンタクロース

## 1) 平和教育活動

広島市の被爆体験を次世代に継承し、世界の紛争地域や被災地域の状況や支援の必要性をオンラインセミナーを通して学ぶ事業を行いました。

### ①全国YMCAユース平和ミーティングの実施

ユースボランティアリーダーたちが企画を行い、76年前に広島で起こったことを理解してもらうための動画を制作しました。また、「実際にきのこ雲の下で何が起こったのか？」を被爆者の田中稔子さんにお伺いしました。テーマでもあった「当たり前の日常が奪われたこと」についてグループディスカッションを行い、全国のユースと平和について考えました。



### ②平和の灯ろう & 平和の俳句展の実施

8月6日を前にアルメニアから灯ろう流しで使う平和のメッセージが書かれた絵と平和をテーマにした俳句の本が届きました。アルメニアは第一次世界大戦時にオスマントルコ帝国によって、大虐殺が行われた国の一つ。広島市の原爆投下とオーバーラップすることが多く、毎年広島YMCAと灯ろう流しの時期に交流を行っています。



### ③市民平和行進

広島YMCAは、生協ひろしまとの共同で、1979年から市民平和行進に取り組んでいます。今年は、コロナ禍のため、広島市内を行進することができない状況でしたが、生協ひろしま・広島県原爆被害者団体協議会（被団協）・広島YMCAの3団体が参加し、平和記念公園内で行われる献花式に市民グループの代表として参加しました。



### ④平和のための国際NGOおよび地域NPOとの協力

#### ◆国際NGOとの協力

「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」「ピースボート」「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」などの協力により、核兵器禁止条約批准の後押しをするための共同行動（集会やイベント）を展開しました。



特に2021年度は核兵器禁止条約に関して批准50か国となり、国連で正式に国際法として発効されたため、広島でも多くのイベントが行われました。

8月5日に行われた日本核廃絶NGO連絡会議が主催した国連・ICAN・日本政府と各政党の党首を交えた討論会では、広島YMCAも事務局として日本の核政策に関する情報を国内外に向けて発信しました。



## ◆地域NPOとの協力

広島YMCAは、広島県原爆被害者団体協議会（通称被団協）が行う活動のサポートを行っています。2021年度は「政府に対し核兵器禁止条約への批准を求める署名活動」を行っています。7つの被爆者団体では条約が発効された1月以降、2021年12月末までに約52万人の署名を集めています。2か月に1度街頭署名活動が平和記念公園の元安橋で行われ、核兵器廃絶にむけての地道な活動を続けています。

## ◆広島県や広島市（平和文化センター）との協力

広島県が実施する平和への取組「Cranes For Our Future」キャンペーンに広島YMCAは協力しました。被爆から76年を迎える広島・長崎では7月13日～8月6日の期間、平和への祈りの輪を広げるため折り鶴を折ってSNSに投稿するという活動が行われ、広島YMCAからもランチ・センターの皆様にご協力いただき、平和のメッセージを発信しました。

## ◆核兵器禁止条約発効1周年を祝う平和イベント協力

広島市内で活動するNPOが協力をして、核兵器禁止条約が発効された1月22日に原爆ドーム前で、条約発効1周年を祝うキャンドルイベントが行われました。広島YMCAも平和活動NPOの1つとして、この活動をサポートしました。会場の設置やイベントの運営、記録などの役割を広島YMCAスタッフやリーダーたちで担いました。

## ◆広島県生協連との協力「戦争も核兵器もない平和な世界を」

この市民の集いは、核兵器廃絶を願い思想信条を越えて結成された市民6団体が、行政と連帯して「戦争も核兵器もない平和な世界を」めざした取り組みで、広島YMCAも市民団体の代表として、また、主催者の1つとして参加しています。

今年度は、広島平和文化センター理事長の小泉崇氏から「核兵器禁止条約と市民社会」というテーマで特別講演をいただきました。広島県原爆被害者団体協議会理事長の佐久間邦彦氏（広島YMCA会員OB）、広島県生協連理事の草野みどりさんから活動報告がなされました。広島県生活協同組合連合会・広島県原爆被害者団体協議会・広島YMCAの事務局が共同し、会の結びに平和アピール文が読み上げられ、満場一致で採択がなされました。

## ◆ウクライナ緊急支援募金及び支援活動

2月末、ロシアのウクライナ侵攻によって多くの避難民を出す結果となり、ウクライナ隣国のYMCAでは支援活動が始まりました。広島YMCAも日本YMCA同盟との共同の活動として、緊急支援募金活動をスタートしました。また、NPOや広島県ウクライナ人会と協力し、平和を願う反戦集会を平和記念公園にて実施しました。



## 2) 地域奉仕活動

広島YMCAの会員の皆様、ボランティアリーダーの方々と共に、障がいのある子ども達や生活困窮状態にある方々への支援活動、チャリティープログラムを実施し、地域社会への奉仕活動を行いました。

### ① インターナショナル・チャリティーランの実施

個人や企業を対象に、障がいのある子ども達の支援のためのランニングイベントを開催し、参加費・協賛金を支援活動に充当しました。特に2021年度はコロナ禍のため、参加者全員が中央公園に集まり競技に参加することはせず、参加者各自がランやウォークを行い、その模様を写真に撮影したものを審査するフォトコンテスト形式の大会を実施しました。

日程：12月8日（水） 参加者：313名 協賛：14団体

全国の障がい児プログラム運営に73,909円 支援

YMCA障がい児クラスの活動に150,000円 支援



### ② Amazon「みんなで応援プログラム」

#### 「みんなでサンタクロースプロジェクト」の実施

Amazonのご協力により、通販サイトを活用したチャリティーキャンペーンを広島YMCAで実施しました。広島YMCAの公益活動で必要としている支援物資をAmazonの通販サイトに登録し、プログラムの趣旨に賛同いただいた方々に購入いただき、支援物資として届けていただく活動を行いました。Amazonのパートナーとして、全国23のYMCAでこのキャンペーンを展開しました。

#### ・主な支援品

こども食堂テイクアウト用ランチボックス

こども食堂テイクアウト用フォーク&スプーン

一人親家庭支援フードバンク用ジップロック

一人親家庭支援フードバンク用ビニールバック

広島YMCAクリスマス用プレゼント（お菓子・人形他）

被災地支援用クリスマスイルミネーション他



### ③ いじめに反対するピンクシャツデーの実施

2月23日（水・祝）ピンクのシャツやピンクの小物を身につけて「いじめ反対」のアピールを行いました。2021年度は120件の写真やいじめ反対のメッセージが届くようになり、参加者は300名以上。他団体からは50名の参加もあり活動は拡大しています。



### 3) 国際交流・国際支援活動

広島YMCAの持つ国際的なネットワークを活用し、国際交流を促進し、合わせて海外からの来広者に対し、被爆地広島の体験を広く伝えました。また、世界で起きる自然災害や紛争地域への人道支援、開発途上国や地域への支援の必要性を広く訴え、日本YMCA同盟を通じて国際支援を行いました。

#### ①広島-ホノルル青少年交流プログラム (Let's Get Together)

1960年にパートナーシップ締結、1961年から国際交流プログラムとして継続していましたが、コロナ禍による渡航制限のため、派遣・受け入れを中止いたしました。

#### ②広島-ハノーバー青少年交流キャンプ (Global Youth Friendship)

1988年にパートナーシップ締結、1992年から国際交流プログラムとして継続していましたが、コロナ禍による渡航制限のため、派遣・受け入れを中止いたしました。

#### ③広島・フィリピンワークキャンプ

2013年台風30号の被害にあったフィリピンのセブ島を広島の青少年が訪問し、現地の青少年と相互理解を深めながらボランティアワークを行うプログラムです。コロナ禍による渡航制限のため、派遣中止となりました。

### 4) 災害支援活動

2021年度の災害復興支援活動は、以下の活動が行われました。

#### ①YMCAクリスマス「被災地にクリスマスリースを贈ろう」

毎年、会員の皆さんや広島ワイズメンズクラブ、広島YMCAに通う子ども達が集まって、災害のあった地域などにクリスマスリースを贈る活動を続けています。澤村雅史チャプレンからクリスマスのお話を伺った後、参加者全員で小さなリースと大きなリースを作成し、支援が必要な被災地域に送りました。



#### ②エキニシ火災復興支援活動

2021年12月10日、JR広島駅西側の通称「エキニシ」で大規模火災があり、26棟（全焼11棟、半焼7棟、部分焼5棟、ぼや3棟）が被災しました。広島YMCAでは、子ども達が作成したクリスマスリースと全国の皆様から届けられたクリスマスイルミネーションを寄贈しました。



#### ③3.11東日本大震災を忘れない追悼のつどい

広島市災害ボランティア連絡調整会議（YMCAも加盟団体の1つ）のNPOが協力して、毎年、平和記念公園にある親水テラスにてキャンドルを灯し、東日本大震災で被害に遭った方々を追悼する、慰霊のイベントが2012年から続けられています。今年には11年の歴史を振り返りつつ、新たな追悼のつどいとして、平和公園のキャンドルイベントとそれぞれのNPOをオンラインでつないだ集会が行われました。



## 5) ボランティア・リーダー／ユース育成活動

広島YMCAの会員の皆様、市民の皆様にボランティアの機会を提供し、様々な活動を通してボランティアの育成を図りました。また、日本YMCA同盟が行うリーダー育成事業・ボランティア育成事業に参加する機会を設け支援を行いました。特に2021年度は、10月に核兵器被害の実相を伝えるための平和学習会を行い、多くのユースやスタッフが平和について学ぶ機会を提供しました。

### ◆全国YMCAユース平和ミーティングの実施

毎年8月6日前後に行われている広島YMCAユースピースセミナーがコロナ禍のため2年連続で中止となりました。しかし、今年はリーダーたちが自ら企画をしたオンラインプログラム「YMCAユース平和ミーティング」を全国のユースと共に10月23日に実施しました。「当たり前の日常が奪われることはどういうことなのか？」をテーマに、76年前の広島原爆投下において何があったかを伝える取り組みを行いました。自分たちで平和記念公園に出向き、慰霊碑について学び、普通の生活があった地域がどうなってしまったのかを動画として紹介しました。また、被爆者の田中稔子さんをお招きして、8月6日、きのこ雲の下で何が起こったのかを伝えていただきました。その後、参加者同士で、当たり前の日常が奪われることについて意見交換を行い、YMCAに集う多くのユースが平和と言うことについて気持ちを1つにした平和ミーティングとなりました。



### ※参加者の感想

- ・人それぞれ「当たり前」が違う事、平和記念公園を観たのが初めてで原爆が投下される前と後での違いを知り、戦争の悲惨さを痛感し、田中さんのお話を聞き、被ばくされた方への差別があったことも知り、このようなことは二度と繰り返してはいけない事なんだと思いました。
- ・聞いた私たちは何があったのかを伝えることが大切なことだと学びました。そしてそれは広島のみならず、みんながそう思わないといけないので、もっと広島の人と仲良くなって色々な国の人も友だちになりたいと思いました。

### ◆広島YMCAリーダー会が考える折鶴活動

今年の夏、横浜YMCAが平和教育の一環で作成した千羽鶴を平和記念公園の原爆の子の像に献納するプログラムの立案と実行をリーダーたちが行いました。自分たちでポスターを作り、積極的に観光客に声がけを行い、外国人の方や国内の家族連れ、広島近隣の子供達に平和への思いがこもった折鶴を献納していただきました。

広島YMCAでは1万羽の折鶴を献納し、1万8千羽の折鶴を平和教育の一環で活用させていただきました。横浜YMCAの皆様にも心より感謝申し上げます。



## 6) 協力団体との活動

### ◆世界YMCA/YWCA合同祈祷週 広島集会

11月13日(土)世界YMCA/YWCA合同祈祷集会在呉YWCAを主管にオンラインで行われ、17名の方が参加しました。世界中のYMCAとYWCAは、毎年11月の第1～2週目を起点とする1週間を合同祈祷週とし、1904年以来毎年世界の課題のために祈る時を持ってきました。この1週間は、両団体に連なる人たちが、よりよい世界の実現のために、祈りを共にする期間となります。

今年度のテーマは「Beauty from Brokenness/ かわれたものからの美しさ」とし、呉信愛教会の永野牧師をお招きして、祈りの時を持つことができました。



### ◆原爆の子の像建立記念式典 有志で開催

平和記念公園の一角にある原爆の子の像は、1958年に建立されました。毎年5月5日は建立記念日として、広島女学院大学と広島YMCAが共同で式典を開催しています。2021年度はコロナ禍の影響で式典は中止となり、有志によるささやかな式典を開催しました。原爆投下の午前8時15分に合わせ、立野牧師による聖書拝読、澤村チャプレンによる平和の祈りが捧げられました。



### ◆被爆バイオリンと被爆ピアノコンサート

2021年夏、被爆76年目の8月6日に広島市平和記念公園にあるレストハウスにおいて、ピースポート主催の被爆ピアノと被爆ヴァイオリンの平和コンサートが行われました。全国においても夏休みの平和学習プログラムの一環として取り組んだYMCAもあり、多く子ども達が、被爆した楽器や持主の悲しい運命を知り、またその音色に感動し、戦争の悲惨さと平和の尊さということについて深く考える機会を持つことができました。広島YMCAからはスタッフがボランティアで参加し、運営をサポートしました。



### ◆坪井 直氏 お別れ会

12月22日(水)広島県原爆被害者団体協議会理事長であり、同年10月にお亡くなりになった坪井直氏のお別れの会が平和記念資料館のメモリアルホールで開催され、広島YMCAは運営をサポートしました。お別れ会では、湯崎県知事・松井広島市長をはじめ多くの方が出席され、坪井氏への感謝と祈りを捧げました。広島YMCAは、市民平行進やヒバクシャ国際署名、国際青少年平和セミナー等で坪井氏に大変お世話になり、ご指導をいただけてきました。公益財団法人広島YMCAを代表して、坪井氏の教え子でもある理事長の殿納隆義も出席し、故人をしのんで献花を行いました。



## 2021 年度 公益財団法人 広島 Y M C A 収支報告

### 《収入》

(千円)

勘定科目名	内 容	金 額
受 取 寄 付 金	ワイズメンズクラブの寄付・広島ロータリークラブフィリピン支援金 広島 Y M C A 礼拝 献金 他	790
受 取 会 費	Y M C A 維持会費	2,458
事 業 収 益	チャリティーランなどの参加費	651
募 金	街頭募金・一口募金・カウンター募金・募金箱募金・法人募金 他	1,360
	合 計	5,259

### 《支出》

(千円)

勘定科目名	内 容	金 額
支 援 金	留学生 生活補助・こども食堂支援 フィリピンワークキャンプ助成金 他	452
広 報 宣 伝 費	GCC パンフレット・封筒代 他	768
委 託 費	管理運営・会計監査費用・同盟負担金 他	211
通 信 運 搬 費	電話料金・海外郵便・Y M C A ニュース発送費 他	166
印 刷 製 本 費	コピー・印刷代・Y M C A ニュース制作	97
消 耗 品 費	用紙・文具・チャリティーラン・募金グッズなどの備品 他	61
施 設 借 用 料	GCC プログラム会場使用料 他 (ホール・貸館・教室など)	101
消耗什器備品費	チャリティーラン・GCC 平和プログラム運営	457
寄附金・諸謝金	他団体への寄附・協力者への謝礼・交通費 他	387
諸 会 費	関係団体・協力団体会費 他	169
災害復興支援活動費	熊本豪雨災害避難所運営・被災 Y M C A 支援	17
そ の 他	人件費・雑費・振込手数料他	812
	合 計	3,698

	収 支 差	1,561
--	-------	-------

公益財団法人広島YMCA  
理事長 殿納 隆義 様

## 監 査 報 告 書

私は、公益財団法人広島YMCAの2021年4月1日から2022年3月31日までの理事の職務執行状況並びに会計処理・財産状況について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議の議事録を確認し、理事及び職員からその職務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

### 2. 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以 上

2022年5月23日

公益財団法人広島YMCA

監 事 松 浦 瑞



2021年8月  
日本YMCA同盟より機関誌THE YMC Aの9月号巻頭言の原稿記事の依頼があり広島YMCAがICAN国際運営委員・川崎哲氏への依頼ならびにヒバク楽器のコンサートの取材を行った。



日本YMCA同盟  
The Young Men's Christian Association News

# THE YMC A

9

No.809 2021

2021年9月1日発行 隔月刊発行  
144頁 150円(税込) 第三印刷部印刷  
編集発行 川崎 哲 (編集長)  
発行 公益財団法人 広島YMCA  
〒730-0023 広島県広島市東区本町11-1  
Tel:082-522-6666 Fax:082-522-6664  
URL: https://www.ymcjapan.org/  
創刊人/2021年 編纂人/山本 啓祐

YMCA

発効し、動き出した核兵器禁止条約  
核兵器絶滅国際キャンペーン (ICAN) 国際運営委員  
ピースボート共同代表 川崎 哲

今年1月、核兵器禁止条約が発効しました。この条約は歴史的に初めて、核兵器を保有することも持ちつとも保つことも、そしてこれらに協力することも、いかなる状況でも違法であるとする国際法です。2010年に米十字が核兵器の非人道性に関する必要性を世界に訴え、核兵器が使用された場合の非人道的な影響に関する国際的な議論が展開されてきました。その結果、2017年7月に122カ国の賛成により核兵器条約が採択されました。その後3年あまりかけて条約発効に必要な55カ国が批准し、今日(7月24日現在)では55カ国が批准しています。

この条約の条約締結国は、軍事上において優勢な国々です。条約交渉を主導したオーストラリア政府が主導をリードします。核兵器の非人道性に関する議論は、この条約に署名・批准する国々によって増やされていくことが望まれます。また、将来保有国がこの条約に入ってきた場合にどのような形で核兵器を廃棄するか、すなわち核廃絶の期間や経路、そしてそれを担当する国際機関についても話し合われます。つまり、核なき世界への作業が始まるということです。

5月に、世界で過去2000年以上行われてきた核実験の被害者に対する運動や、核実験で汚染された地域の回復のために取り組まれていることについて、この条約に署名・批准する国々に対して、広島・長崎の被害者団体や多くの非政府組織 (NGO) は、唯一の戦争被害国であるから日本はこの条約に入って核兵器の廃絶に立つべきだと訴えています。日本が条約を批准することで核に反対の声を上げていくとしても、条約締結国には非締結国でもオブザーバー参加できます。核の非人道性についての議論や核実験被害者への運動は、日本が世界に呼びかけを続けるべきです。これら日本国内でどうしていくか、私たちも関心を持って監視していくことが必要です。

平和を学ぶ 被爆ピアノとバイオリンのコンサート

2021年8月、広島は70年目の核爆の日を迎えました。この日、広島市平和記念公園にあるストロウハイスケールにてピースボート主催の被爆ピアノとバイオリンのコンサートが行われ、観客を約200名(主催者発表)が参加し、平和を学ぶ機会となりました。当日は、広島市平和記念公園のストロウハイスケールにて行われ、観客を約200名(主催者発表)が参加し、平和を学ぶ機会となりました。当日は、広島市平和記念公園のストロウハイスケールにて行われ、観客を約200名(主催者発表)が参加し、平和を学ぶ機会となりました。

●全国YMCAのさまざまな活動はこちらからもご覧いただけます。https://www.ymcjapan.org/

## 核廃絶の志継承 生前の笑顔に決意新た

### 原爆資料館で 坪井さんにお別れ

広島県被爆協会の理事長を務め、10月に脱獄して亡くなった坪井直さんのお別れ会が23日、広島市中区の原爆資料館で営まれた。被爆者団体の関係者、平和

運動の仲間たち約400人が参列。核兵器廃絶を国内外で訴え続けた坪井さんへの敬意を込めて、決意を新たにした。

壇上には笑顔の坪井さんの写真が飾られ、会を主催した被爆協会の菅智之理事長(79)があいさつ。20歳で脱獄し一時は重傷を負った坪井さんの歩みに触れ、一歩かの道にもこんな信念を胸に燃やせよと、心よのびた。と声を震わせた。

坪井さんは「広島市の被爆者団体の関係者、平和

者の顔として運動の先頭に立たれた。今日はお別れの会だが、核兵器のない、戦争もない世界に向けて生きてもいい」と激励の言葉を述べた。生前の映像も用意され、2016年に現職の大統領として初めて被爆地を訪れたオバマ氏と握手を交わす様子などが流れた。広島県の湯崎英彦知事、広島市の松平一実市長、地元選出の国会議員たちが献花。一般参列者による献花で長い列ができた。

坪井さんは1945年8月6日、原爆から約1・2kmの広島市東区北町(現中区)で脱獄。47年に中学校教員となり、教諭として平和の大切さを説いた。退職した後、被爆者運動に関わり、00年に日本被爆協会の代表委員に就任。04年に県被爆協会の理事長に就いた。

県被爆協会の種田雅弘理事長(88)は「核兵器廃絶のため、死ぬまで頑張れと誓われた坪井さんの言葉が心の中にある。体が長く限り、努力したい」と声を振り絞った。(新山 剛)



2021年12月23日 中国新聞朝刊より  
広島県原爆被害者団体協議会理事長の坪井直氏のお別れ会が平和資料館のメモリアルホールで行われました。2016年のYMCA国際青少年平和セミナーでの被爆証言、ヒバクシャ国際署名、市民平和行進などでYMCAも坪井氏から多くのご指導をいただきました。お別れ会ではYMCAを代表して、坪井氏の教え子でもある理事長の殿納隆義が献花を行い、広島YMCAが被団協からの依頼でオフィシャルの記録を担当しました。







みつかる。つながる。よくなっていく。

公益財団法人 広島YMCA

〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11 Tel 082-228-1151 Fax 082-211-0366